

2013年度第2回 サロン2002 理事会報告

(理事会後の動向も若干含む)

- 【日 時】2013年11月22日(金) 18:00~19:00
- 【場 所】筑波大学附属高校 3F 会議室
- 【出席者(理事)】中塚義実、本多克己、岸卓巨
- 【出席者(オブザーバー)】安藤裕一
- 【欠席者(委任状あり)】笹原勉、高田敏志、嶋崎雅規
- 【議事録作成】岸卓巨

議題1：日本サッカー史公開研究会へのサロンの関わり方について

中塚理事長より、牛木素吉郎氏が日本サッカー史研究会主催で計画中の「日本サッカー史公開研究会」(12月20日、日本サッカーミュージアムにて実施予定)に、サロン2002がどのような形で関わるべきかとの発議があった。牛木氏の企画案では、サロンは「協力」として名前が挙がっている。

totoの助成金に関する説明会に前日に参加した本多氏より、今後サロン2002がtotoの助成金を申請することを考えると、いろいろな事業に「共催」「主催」しておいた方がいいとの意見が挙がった。責任を持って実施するという意思を持ってさまざまな事業に関わっていくことが必要であり、「協力」では責任を持って関わっていると認められないとのこと。

中塚理事長が牛木氏と相談することになった。

→ 理事会後の月例会に参加していた牛木氏に、中塚が打診した。当初の企画段階で、「サロン2002」は「東大LB会」とともに主催者に名を連ねていたが、サッカーミュージアムを利用するにあたって、JFAとは無関係の団体が主催に入るのは難しいのではないかと判断でこのような形にしているとのこと(日本サッカー史研究会は、JFAミュージアム部(旧)の支援により、毎月JFAの会議室での開催実績がある)。これらを「共催」に位置付ける方策も含め、再度検討してもらうこととなった(現在調整中)。

議題2：サロン2002法人化に向けた今後のスケジュールについて

小池正通氏よりサロン2002メーリングリストに投稿(2013年11月6日)があった下記スケジュールをもとに、今後のスケジュールについて話し合った。

- | |
|---|
| 2013年11月～：会員間での法人化への議論・意見集約、法人化PT、提言書作成準備 |
| 2013年12月：法人化PT、理事会へ法人化提言書を提出 |
| 2013年12月：理事会開催、提言書の精査・審議 |
| 2014年1月：法人化PTによる申請書類準備 |
| 2014年2月：理事長、解散総会招集・総会での議案案内、
同時に継承法人の設立総会招集、設立総会での議案案内 |
| 2014年3月：解散総会開催→現サロン2002の解散日議決→NPO法人サロン2002の設立総会 |
| 2014年4月：所轄庁への書類提出 |
| 4月～5月：公告・縦覧期間 |
| 2014年6月～7月：審査、所轄庁からの認証・不認証通知
(東京都の場合、申請から審査の通知まで4ヶ月位) |
| 1回で認証の場合 |
| 2014年8月：設立登記完了(NPO法人サロン2002の設立、任意団体サロン2002の解散) |

中塚理事長より、例年通り3月20日頃に来年度会員募集を行うためには、その前に今後の組織形態（会員区別、会費額など）を決定しておく必要があるとの話があった。当初の計画では3月30日に総会を開く予定であったが、その時点で会員に「NPO 法人サロン 2002」への承認を求め、組織形態を決定してから会員募集をしては遅くなるとの懸念である。

→ 2月中にサロン 2002 総会を開き、現組織の発展的解散と「NPO 法人サロン 2002」への移行について承認決議を得、3月20日ごろから2014年度会員募集ができるようにしておきたい（11月23日、新大阪駅にて本多・中塚 MTG 実施。そこで本件を確認）

3月30日の総会前後にシンポジウムを行う計画もある。テーマは「スポーツクラブの法人化(仮題)」。これまでのシンポジウムに比べて「内向き」にならざるを得ないだろうが、サロン 2002 の法人化過程で得た情報や、既存の法人の状況などを取り上げ、会員外の方にとっても役立つ内容にしていきたい。シンポジウムは公開の場であるため、審議事項などは総会で行う。

前回のサロン法人化プロジェクトミーティングで挙がっていた「事業計画タスクフォース」「予算計画タスクフォース」「定款作成タスクフォース」など少人数のタスクフォースを結成して、12月末までに法人化の申請に必要な各種書類を作成する。これについては、法人化プロジェクトの奥山リーダーを中心に至急作業を進めてもらいたい。必要であれば、既存の法人化プロジェクトメンバーだけでなく、新たに会員からメンバーを募集するのもよいだろう。理事会メンバーにも入ってもらえるとよい。とにかくスピードアップすることが大切。

議題3：定款作成について

11月17日の法人化プロジェクトミーティングで作成した定款案をたたき台として、主に理事会での審議項目とされていた部分を中心に話し合った。

出された意見は次の通り。

- ・「事務所」

事務所として貸していただける場所を会員から募集する。その際に、サロン 2002 の事務所になるとどのような事が発生するかを明示する必要がある。

- ・「目的」

サロン 2002 の目的は、「サロン 2002 の志の実現」であるが、「志」の内容については文章化する必要がある。この作業は中塚理事長が担当する。

- ・「特定非営利活動の種類」

本多氏が運営している別 NPO 法人（神戸アスリートタウンクラブ）の例に倣って、「まちづくりの推進を図る活動」「子どもの健全育成を図る活動」「国際協力の活動」「環境の保全を図る活動」を加えてもいいのではないかという意見が出た。

- ・「会員」

法人化プロジェクトミーティングでは、コア会員またはサロン会員として、「個人」だけでなく「団体」の受け入れを認めるかどうかという話が出ていた。理事会としては、コア会員とサロン会員は「個人」に限定し、別途「賛助会員」として「団体」を受け入れてはどうかという意見が出た。また、「コア会員」を「社員」と呼ぶことも可能。呼び方についてはさらに検討を進めることとなった。

年会費の額については未確定だが、コア会員 10,000 円、サロン会員 3,000 円が現時点で有力案としてある。しかし、その根拠が会員には伝えられていまい。「会費で最低限の事務局経費を賄う」との基本的な考え方があり、「コア会員は 50~60 人」との見込みがあることを現会員に伝え、考え方と価格設定の根拠を明らかにした方がよいとなった。

- ・「役員」

役員の数については、これまでの形を基本的に継続していくが、この数は越えないだろうということで「上限理事 10 名、監事 2 名」と設定した。

- ・「総会」

総会の実施回数については、これまで通り年 2 回ずつ実施していく予定であるが、議事録提出などの義務も発生するために、定款上は最低 1 回開催とする。

- ・「事業年度」

これまで通り、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終了することとする。

以上

(文責：中塚義実)